

デーリー東北

2021年(令和3年)1月18日(月曜日) (13)

地サイダーのシャーベットをサンド

南部せんべい 斬新な発想



学生たちが南部せんべいの新しい食べ方やパッケージデザインを提案した最終発表会

ハ工大生 新しい食べ方や包装考案

南部せんべいの新しい食べ方や販売方法を考えるプロジェクトの最終発表会が13日、八戸工業大で開かれた。同大創生デザイン学科の2年生が、若者や幅広い世代に食べてもらえるよう、チョコレートと組み合わせた新しい味の煎餅やパッケージを考案。商品アイデアは、市内の煎餅店や八戸商工会議所などと協議し、今後、商品化の可能性を探る。
(須田山裕太)

同学科では「ビジュア ーラうため、「白せんべい」ルストーリーテリング に道路標識の図柄をア ーリ 論」という講義の一環で、 ントして売り出す案な 昨年4月から南部せんべ ーど、学生ならではの斬新 ーのパッケージデザイン ーなアイデアも。

や新しい食べ方を研究。 同商議所や市内の煎餅 同市出身のクリエイティ ー店主らによる審査の結 ーブコンサルタント関橋英 ー果、白せんべいに八戸の ー作さんが指導し、デーリ ー地サイダー・三島シトロ ー東北新聞社の社内分社 ーのシャーベットを挟ん ー「東北のデザイン社」が ーだ「せんべい」が1位 ー協力した。 に輝いた。

6組の学生グループが せんべいを考えた高 ーアイデアを発表し、煎餅 橋咲耶さん(20)は「若い ーを1口サイズにしてチョコ ーレイトなどをコーティ ーうきっかけになれば、商 ーングする案や、交通ルー ー品化できればうれしい」 ールを学びながら食べても ーと笑顔を見せた。

※この記事・写真等は、デーリー東北新聞社の承諾を得て転載しています。